令和８年１１月５日
交通政策審議会
第１０１回港湾分科会
資料２

# 八代港（一部変更）

国土交通省

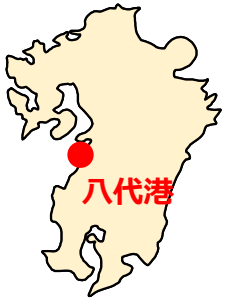
*Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism*

# 八代港の概要

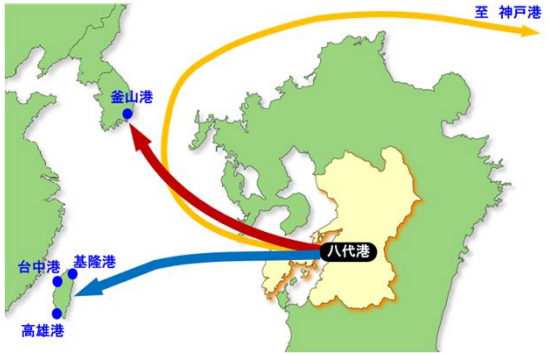
国土交通省

〇八代港は、中九州の物流拠点として経済・産業活動における重要な役割を果たす重要港湾であり、港湾管理者は熊本県。
〇外港地区は、背後の半導体や木材等の産業を支えるコンテナ貨物や、穀物飼料の原料となるバルク貨物を扱っている他、クルーズ船の受入拠点としての役割も果たしている。

【位置図】




◆八代港外貿定期コンテナ船の就航状況

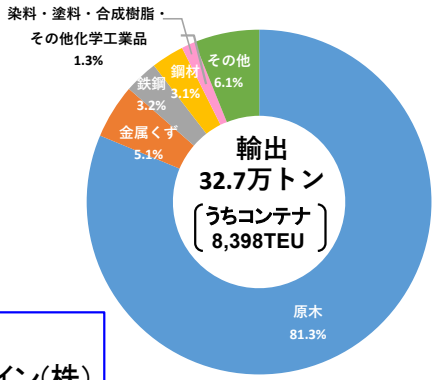


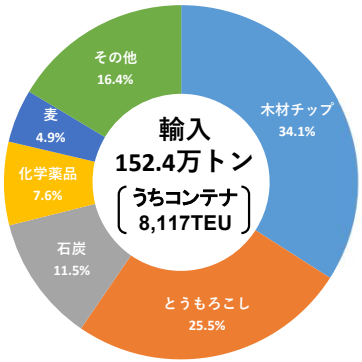

**①韓国釜山航路**
週1便– 高麗海運(株)
週1便– 長錦商船(株)
興亜LINE(株)

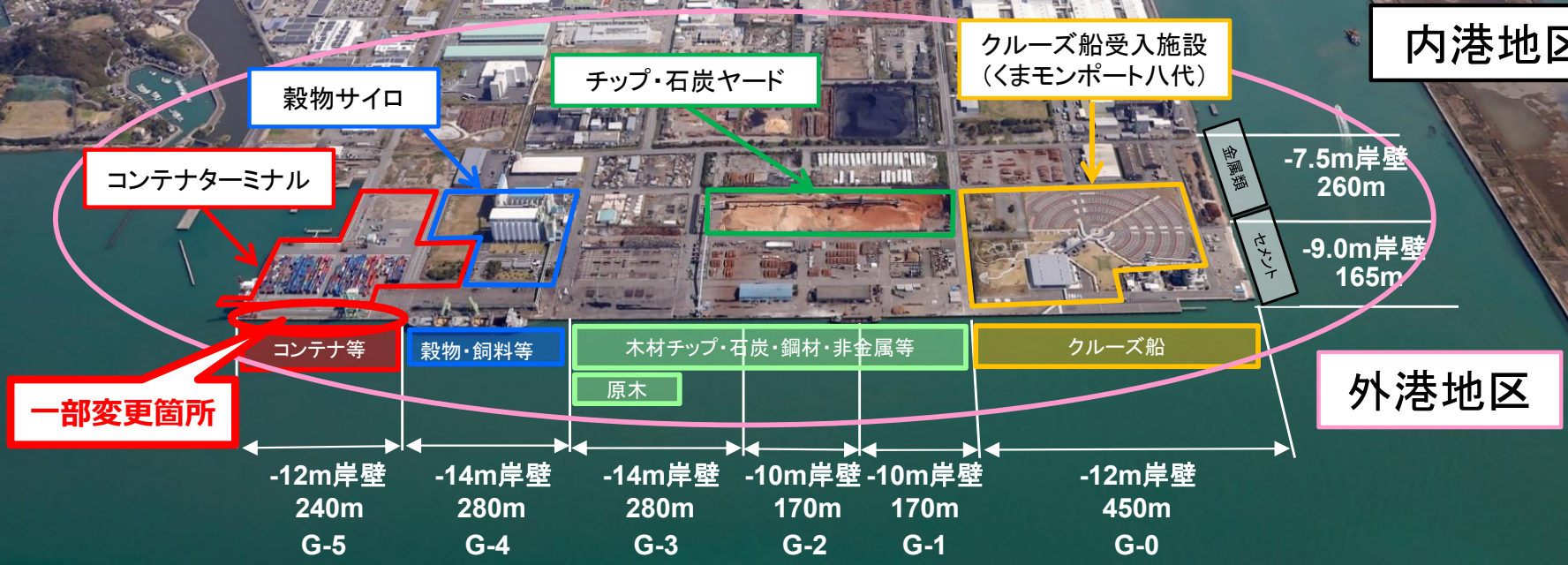
**②国際フィーダー航路**
週1便– OOCL(株)
井本商運(株)

**③台湾航路**
週1便– 愛媛オーシャン・ライン(株)

◆八代港　外貿取扱貨物量内訳（令和7年速報値）



# 八代港港湾計画の一部変更

前回改訂：平成17年11月（目標年次：平成30年代前半）

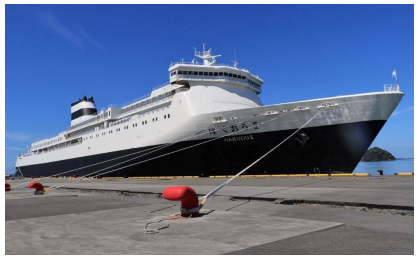
国土交通省

○令和8年熊本地震により、八代港においては、岸壁本体への被害や、背後の段差、液状化、陥没、ガントリークレーンの損傷等が発生したところ。
○特に、八代港の外貿コンテナ貨物の背後圏は熊本県内外に広がっており、今後の災害復旧にあたっては、全国的・国際的な観点から、被災による経済活動等への影響を最小限とするため、直ちに復旧可能となるような対策を講じておく必要がある。

岸壁背後の段差



応急復旧済み



H29.3一部変更
旅客船バース
水深12m　延長450mを新規計画、
大規模地震対策施設に位置づけ

R8熊本地震の際には
『はくおうⅡ』が着岸し、支援を行った

**【今回計画】**
**災害時においても物流機能を維持するため、大規模地震対策施設(耐震強化岸壁)を位置づけ**




コンテナのずれ・倒壊



空洞化



応急復旧済み

岸壁背後の陥没



応急復旧済み

岸壁本体の変位
（壁の前面矢板が変位したため陥没）




応急復旧済み

岸壁背後の液状化



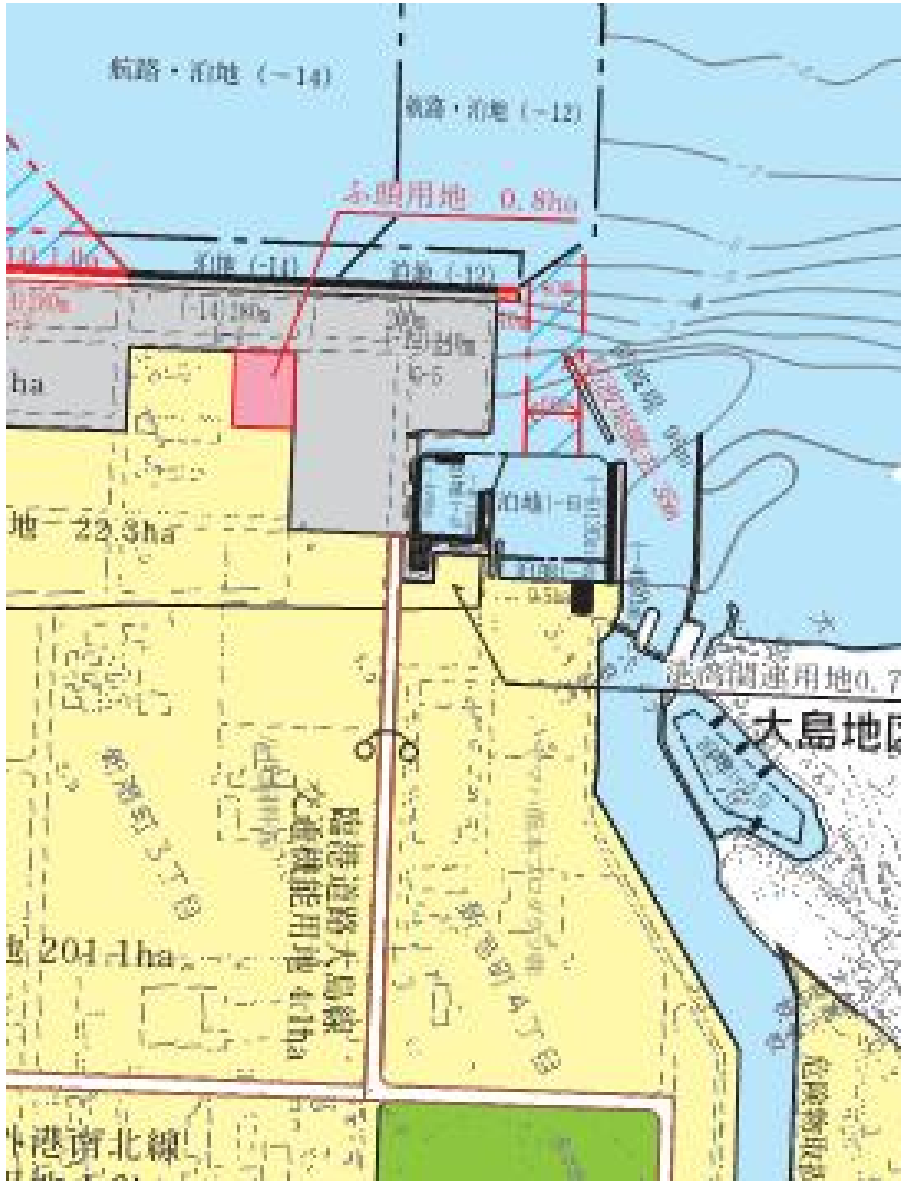
応急復旧済み

# 計画変更内容（八代港）

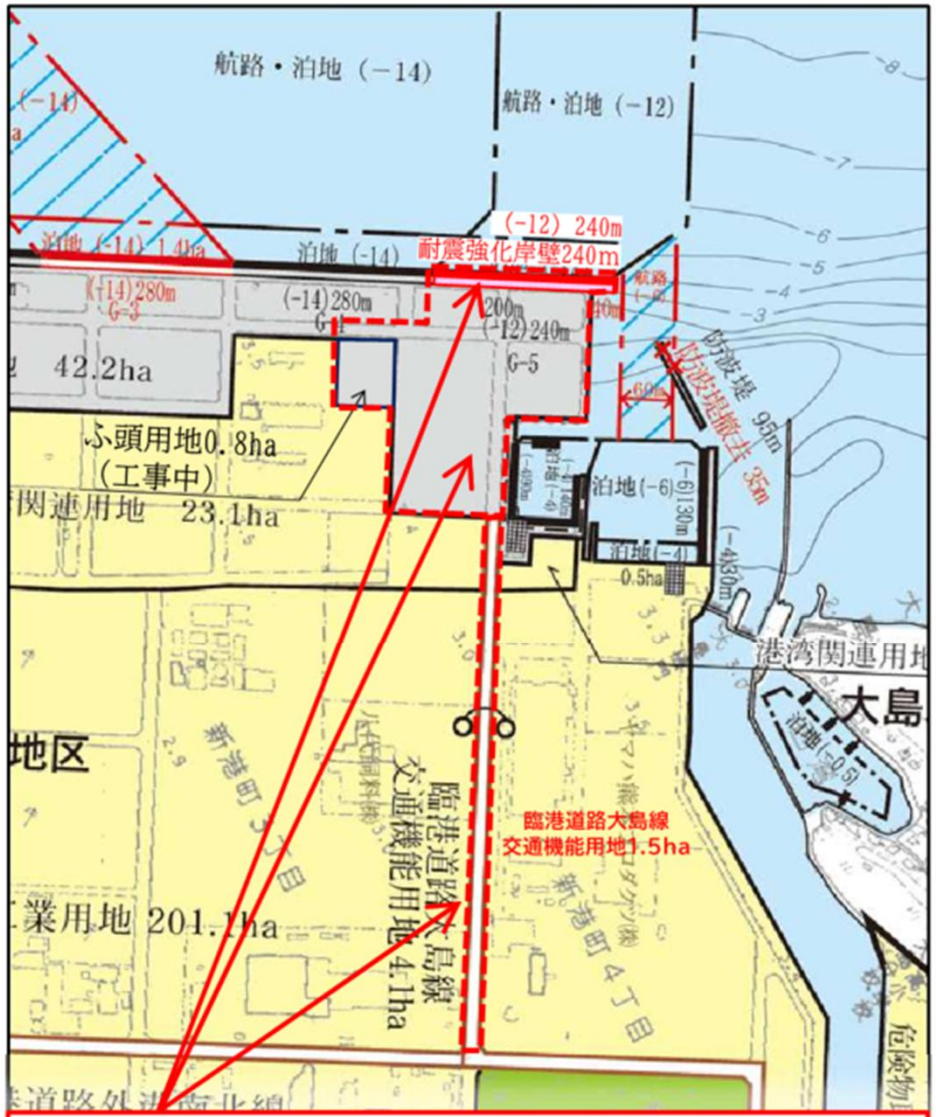
国土交通省

○大規模地震発生時においても物流機能を維持するため、大規模地震対策施設計画を位置付ける。

**【既定計画】**




**【今回計画】**




**【大規模地震対策施設計画】**
- 水深12m　延長240m（幹線）[既定計画の変更計画]
- 埠頭用地　6.3ha [既設の変更計画]
- 臨港道路大島線　交通機能用地　1.5ha [既設の変更計画]

# 基本方針との適合（八代港：一部変更）

国土交通省

| 今回計画における主な変更内容 | 基本方針との適合 |
| --- | --- |
| ➢ **大規模地震に対応するための耐震強化岸壁の確保** | **Ⅱ １（３）①災害等から国民の生命・財産を守り、社会経済活動を維持する港湾・輸送体系の構築**<br>＜国民の生命・財産を守るための、緊急物資、幹線貨物等の輸送ルートの構築、航路等の啓開体制等の強化及び連携体制の確保＞<br>• フェリー・RORO 船等による迅速な緊急物資等の輸送に資する既存岸壁の耐震機能の確保や、幹線貨物輸送の拠点となる耐震強化岸壁とそれに付随する荷役機械、道路の整備等、地域防災計画等を踏まえた港湾関連施設の防災機能の向上 |